

いわき市水道事業における業務指標 (P I)
(J W W A Q 100 : 2016)
(令和 4 年度)

業務評価基準の凡例
 ↑ 高いほど良い ↗ 上限の数字がある 他 の 指 標 と 併 せ て 総 合 評 価 す る
 ↓ 低いほど良い ↘ 下限の数字がある 白抜き記号... 届の努力で改善できる指標
 塗りつぶし記号... 他の要因がないと改善できない指標

目標	分類	区分	指標	指標名	指標の解説	計算式	単位	業務指標値		業務評価基準	
								R3	R4		
A	安全で良質な水	1	水質管理	A101	平均残留塩素濃度	給水栓での残留塩素濃度の平均値を表す。	残留塩素濃度合計 / 残留塩素測定回数 残留塩素濃度合計 (mg/L) / 残留塩素測定回数 (回)	mg/L	0.36	0.36	↷
				R3	6,320.68	17,520					
				R4	6,240.87	17,520					
				A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率	給水栓におけるカビ臭物質濃度の最大値の水質基準値に対する割合を表す。	(最大カビ臭濃度物質濃度 / 水質基準値) × 100 最大カビ臭濃度物質濃度 (mg/L) / 水質基準値 (mg/L)	%	30.0	20.0	↓
				R3	0.000003	0.000010					
				R4	0.000002	0.000010					
				A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率	給水栓における総トリハロメタン濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す。	[(給水栓の総トリハロメタン濃度 / 給水栓数) / 水質基準値] × 100 (給水栓の総トリハロメタン濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 (mg/L) / (箇所)	%	25.0	31.0	↓
				R3	0.0250	0.1000					
				R4	0.0310	0.1000					
A104	有機物 (TOC) 濃度水質基準比率	給水栓における有機物 (TOC) 濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す。	[(給水栓の有機物 (TOC) 濃度 / 給水栓数) / 水質基準値] × 100 (給水栓の有機物 (TOC) 濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 (mg/L) / (箇所)	%	18.0	16.0	↓				
R3	0.5400	3.0000									
R4	0.4800	3.0000									
A105	重金属濃度水質基準比率	給水栓における重金属濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す。	(給水栓の当該重金属濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 × 100 (給水栓の当該重金属濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 (mg/L) / (箇所)	%	2.8	2.8	↓				
R3	0.00028	0.01000									
R4	0.00028	0.01000									
A106	無機物質濃度水質基準比率	給水栓における無機物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の味、色など性状を表す。	[(給水栓の当該無機物質濃度 / 給水栓数) / 水質基準値] × 100 (給水栓の当該無機物質濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 (mg/L) / (箇所)	%	13.0	14.0					
R3	39.0000	300.0000									
R4	42.0000	300.0000									
A107	有機化学物質濃度水質基準比率	給水栓における有機化学物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表す。	[(給水栓の当該有機化学物質濃度 / 給水栓数) / 水質基準値] × 100 (給水栓の当該有機化学物質濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 (mg/L) / (箇所)	%	0.0	0.0	↓				
R3	0.0000	0.0000									
R4	0.0000	0.0000									
A108	消毒副生成物濃度水質基準比率	給水栓における消毒副生成物濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表す。	[(給水栓の当該消毒副生成物濃度 / 給水栓数) / 水質基準値] × 100 (給水栓の当該消毒副生成物濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 (mg/L) / (箇所)	%	33.3	33.3	↓				
R3	0.0100	0.0300									
R4	0.0100	0.0300									
A109	農薬濃度水質管理目標比	給水栓における各農薬濃度と水質管理目標値との比の合計を示すもので、水源の汚染状況及び水道水の安全性を表す。	max (Xij / Gvj) (Xij : 各定期検査時の各農薬濃度 (mg/L)、Gvj = 各農薬の目標値 (mg/L)) 測定した農薬数 (項目) / (各農薬の濃度 / 各農薬の目標値) の合計 (Xij / Gvj)	-	0.042	0.020					
R3	114	0.042									
R4	114	0.020									
A	安全で良質な水	2	施設管理	A201	原水水質監視度	水道事業体が原水水質の項目をどの程度検査しているかを示しており、水道事業体の水質管理水準を表す。	原水水質監視項目数 原水水質監視項目数 (項目)	項目	180	181	
				R3	190						
				R4	181						
				A202	給水栓水質検査 (毎日) 箇所密度	給水栓における毎日水質検査に関して、給水面積100km当りの給水栓水質の監視箇所数を示したものであり、水道水の水質管理水準を表す。	給水栓水質検査 (毎日) 採水箇所数 / (現在給水面積 / 100) 給水栓水質検査 (毎日) 採水箇所数 (箇所) / 現在給水面積 (km ²)	箇所 / 100km ²	10.3	10.3	↑
				R3	48	466.025					
R4	48	466.025									
A203	配水池清掃実施率	配水池有効容量に対する5年間に清掃した配水池有効容量の割合を示すもので、安全で良質な水への取組み度合いを表す。	(5年間に清掃した配水池有効容量 / 配水池有効容量) × 100 5年間に清掃した配水池有効容量 (m ³) / 配水池有効容量 (m ³)	%	35.1	41.7	↑				
R3	45,370	129,096									
R4	53,891	129,096									
A204	直結給水率	給水件数に対する直結給水件数の割合を示すもので、受水槽管理の不備に伴う衛生問題などに対する水道事業体としての取組み度合いを表す。	(直結給水件数 / 給水件数) × 100 直結給水件数 (件) / 給水件数 (件)	%	98.9	98.9	↑				
R3	148,287	149,938									
R4	147,741	149,365									
A205	貯水槽水道指導率	貯水槽水道数に対する指導を実施した件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度を表す。	(貯水槽水道指導件数 / 貯水槽水道数) × 100 貯水槽水道指導件数 (件) / 貯水槽水道数 (件)	%	100.0	100.0	↑				
R3	1,651	1,651									
R4	1,624	1,624									

目標	分類	区分	指標	指標名	指標の解説	計算式	単位	業務指標値		業務評価基準		
								R3	R4			
A	安全で良質な水	運営管理	3	事故災害対策	A301	水源の水質事故件数 1年間における水源の水質事故件数を示すもので、水源の突発的水質異常のリスクがどれだけあるかを表す。	年間水源水質事故件数		件	0	1	↓
							年間水源水質事故件数 (件)					
		R3	0									
		R4	1									
A302	粉末活性炭処理比率	年間浄水処理量に対する粉末活性炭年間処理水量の割合を示すもので、原水の汚染状況、水質事故に対する対応を表す。	(粉末活性炭年間処理水量 / 年間浄水量) × 100		%	97.4	98.3	↓				
			粉末活性炭年間処理水量 (千m ³)	年間浄水量 (千m ³)								
R3	20,050	20,593										
R4	19,327	19,667										
A401	鉛製給水管率	給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すものであり、鉛製給水管の解消に向けた取組みの進捗度合いを表す。	(鉛製給水管使用件数 / 給水件数) × 100		%	1.1	1.0	↓				
			鉛製給水管使用件数 (件)	給水件数 (件)								
R3	1,723	149,938										
R4	1,470	149,365										
B	安定した水の供給	1	施設管理	B101	自己保有水源率	水道事業者が保有する全ての水源量に対する自己保有水源量に対する割合を示すもので、水道事業者の意思で自由に取水できる水源量の割合を示すもので、水源運用の自由度を表す。	(自己保有水源水量 / 全水源水量) × 100		%	13.5	13.5	
							自己保有水源水量 (m ³ /日)	全水源水量 (m ³ /日)				
				R3	31,029	229,035						
				R4	31,029	229,035						
				B102	取水1m ³ 当たり水源保全投資額	取水1m ³ 当たりに対する水源保全に対する投資費用を示すもので、水道事業者の水質保全への取組みを表す。	水源保全に投資した費用 / 年間取水量		円/m ³	0.62	0.80	↑
							水源保全に投資した費用 (円)	年間取水量 (m ³)				
				R3	26,266,000	42,533,699						
				R4	33,466,288	41,811,393						
				B103	地下水率	水源利用水量に対する地下水揚水量の割合を示すもので、水道事業者の水源特性を表す。	(地下水揚水量 / 年間取水量) × 100		%	15.8	16.8	↻
							地下水揚水量 (m ³)	年間取水量(受水は除く) (m ³)				
				R3	6,731,983	42,533,699						
				R4	7,043,220	41,811,393						
B104	施設利用率	施設能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す。	(一日平均配水量 / 施設能力) × 100		%	53.2	52.2	↑				
			一日平均配水量 (m ³ /日)	施設能力 (m ³ /日)								
R3	109,774	206,485										
R4	107,817	206,485										
B105	最大稼働率	施設能力に対する一日最大配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す。	(一日最大配水量 / 施設能力) × 100		%	58.5	64.6	↑				
			一日最大配水量 (m ³ /日)	施設能力 (m ³ /日)								
R3	120,845	206,485										
R4	133,419	206,485										
B106	負荷率	一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す。	(一日平均配水量 / 一日最大配水量) × 100		%	90.8	80.8	↑				
			一日平均配水量 (m ³ /日)	一日最大配水量 (m ³ /日)								
R3	109,774	120,845										
R4	107,817	133,419										
B107	配水管延長密度	給水面積当たりの配水管延長を示すもので、お客さまからの給水申込みに対する物理的利便性の度合いを表す。	配水管延長 / 現在給水面積		km/km ²	4.8	4.8					
			配水管延長 (km)	現在給水面積 (km ²)								
R3	2,245,052	466,025										
R4	2,246,165	466,025										
B108	管路点検率	管路延長に対する1年間で点検した管路延長の割合を示すもので、管路の健全性確保に対する執行度合いを表す。	(点検した管路延長 / 管路延長) × 100		%	47.8	55.7	↑				
			点検した管路延長 (km)	管路延長 (km)								
R3	1,090,000	2,279,714										
R4	1,270,000	2,280,834										
B109	バルブ点検率	バルブ設置数に対する1年間に点検したバルブ数の割合を示すもので、管路の健全性確保に対する執行度合いを表す。	(点検したバルブ数 / バルブ設置数) × 100		%	6.2	6.6	↑				
			点検したバルブ数 (個)	バルブ設置数 (個)								
R3	2,560	41,489										
R4	2,754	42,038										
B110	漏水率	配水量に対する漏水量の割合を示しており、事業効率を表す。	(年間漏水量 / 年間配水量) × 100		%	6.9	7.3	↓				
			年間漏水量 (m ³)	年間配水量 (m ³)								
R3	2,749,424	40,067,548										
R4	2,880,765	39,353,184										
B111	有効率	年間配水量に対する年間有効水量の割合を示すもので、水道事業の経営効率性を表す。	(年間有効水量 / 年間配水量) × 100		%	92.8	92.4	↑				
			年間有効水量 (m ³)	年間配水量 (m ³)								
R3	37,199,571	40,067,548										
R4	36,355,849	39,353,184										
B112	有収率	年間配水量に対する年間有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表す。	(年間有収水量 / 年間配水量) × 100		%	90.2	89.8	↑				
			年間有収水量 (m ³)	年間配水量 (m ³)								
R3	36,133,669	40,067,548										
R4	35,330,536	39,353,184										

目標	分類	区分	指標	指標名	指標の解説	計算式	単位	業務指標値		業務評価基準		
								R3	R4			
B	安定した水の供給	1	施設管理	B113	配水池貯留能力	一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を示すもので、給水に対する安定性を表す。	配水池有効容量 / 一日平均配水量		日	1.18	1.20	↑
							配水池有効容量 (m)	一日平均配水量 (m/日)				
							R3 129,096	109,774				
				R4 129,096	107,817							
				B114	給水人口一人当たり配水量	給水人口一人当たりの配水量を示すもので、家庭用以外の水利用の多少を表す。	(一日平均配水量 × 1,000) / 現在給水人口		L/日・人	344	342	
							一日平均配水量 (m/日)	現在給水人口 (人)				
							R3 109,774	319,087				
	R4 107,817	315,175										
	B115	給水制限日数	1年間に給水制限を実施した日数を示すもので、給水サービスの安定性を表す。	年間給水制限日数		日	0	0				
				年間給水制限日数 (日)								
				R3 0								
	R4 0											
	B116	給水普及率	給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合を示すもので、水道事業のサービス享受の概況及び地域性を表す。	(現在給水人口 / 給水区域内人口) × 100		%	99.8	99.8				
				現在給水人口 (人)	給水区域内人口 (人)							
				R3 319,087	319,757							
	R4 315,175	315,829										
	B117	設備点検実施率	機械・電気・計装機器の合計数に対する点検機器数の割合を示すもので、設備の健全性確保に対する点検割合を表す。	(点検機器数 / 機械・電気・計装機器の合計数) × 100		%	100.0	100.0				
				点検機器数 (台・面又は組)	機械・電気・計装機器の合計数 (台・面又は組)							
				R3 180	180							
	R4 180	180										
2	事故対策	B201	浄水場事故割合	直近10年間に浄水場が事故で停止した件数を浄水場当たりの割合として示すものであり、施設の信頼性を表す。	10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数		件/10年・箇所	0.10	0.10	↓		
					10年間の浄水場停止事故件数 (件)	浄水場数 (箇所)						
					R3 1	10						
		R4 1	10									
		B202	事故時断水人口率	浄水場などの事故時において、給水できない人口の割合を示しており、水道事業者のシステムの融通性、余裕度によるサービスの安定性を表す。	[(事故時断水人口 / 現在給水人口) × 100] 最大規模の施設が24時間停止した場合を想定		%	0.0	0.0	↓		
					事故時断水人口 (人)	現在給水人口 (人)						
					R3 0	319,087						
R4 0	315,175											
B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量	災害時に確保されている給水人口一人当たりの飲料水量を示す指標であり、水道事業者の災害対応度を表す。	[(配水池有効容量 × 1/2 + 緊急貯水容量) × 1,000 / 現在給水人口]		L/人	206	209	↑				
			配水池有効容量 (m)	緊急貯水容量 (m)					現在給水人口 (人)			
			R3 129,096	1,240					319,087			
R4 129,096	1,240	315,175										
B204	管路の事故割合	1年間における導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、管路の健全性を表す。	管路の事故件数 / (管路延長 / 100)		件/100km	6.7	3.3	↓				
			管路の事故件数 (件)	管路延長 (km)								
			R3 153	2,279.714								
R4 76	2,280.834											
B205	基幹管路の事故割合	1年間における基幹管路の事故件数を、延長100km当たりの件数に換算したものであり、基幹管路の健全性を表す。	基幹管路の事故件数 / (基幹管路延長 / 100)		件/100km	0.9	2.2	↓				
			基幹管路の事故件数 (件)	基幹管路延長 (km)								
			R3 2	226.616								
R4 5	227.505											
B206	鉄製管路の事故割合	1年間における鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、鉄製管路の健全性を表す。	鉄製管路の事故件数 / (鉄製管路延長 / 100)		件/100km	3.0	2.7	↓				
			鉄製管路の事故件数 (件)	鉄製管路延長 (km)								
			R3 27	904.244								
R4 24	904.258											
B207	非鉄製管路の事故割合	1年間における非鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、非鉄製管路の健全性を表す。	非鉄製管路の事故件数 / (非鉄製管路延長 / 100)		件/100km	9.2	3.8	↓				
			非鉄製管路の事故件数 (件)	非鉄製管路延長 (km)								
			R3 126	1,370.764								
R4 52	1,372.721											
B208	給水管の事故割合	給水件数1,000件当たりの給水管の事故件数を示しており、配水管分岐から水道メーターまでの給水管の健全性を表す。	給水管の事故件数 / (給水件数 / 1,000)		件/1,000件	6.6	5.8	↓				
			給水管の事故件数 (件)	給水件数 (件)								
			R3 989	149,938								
R4 859	149,365											
B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間	現在給水人口に対する断水・濁水時間を示すものであり、給水の安定度を表す。	(断水・濁水時間 × 断水・濁水区域給水人口) / 現在給水人口		時間	0.02	0.02	↓				
			(断水・濁水時間 × 断水・濁水区域給水人口) (時間)・(人)	現在給水人口 (人)								
			R3 7395	319,087								
R4 5063	315,175											
B210	災害対策訓練実施回数	1年間に災害対策訓練を実施した回数を示すもので、自然災害に対する危機対応性を表す。	年間の災害対策訓練実施回数		回/年	2	2					
			年間の災害対策訓練実施回数 (回/年)									
			R3 2									
R4 2												

目標	分類	区分	指標	指標名	指標の解説	計算式	単位	業務指標値		業務評価基準						
								R3	R4							
B	安定した水の供給	3	環境対策	B211	消火栓設置密度	配水管延長に対する消火栓の設置密度を示すもので、危機対応能力の度合いを表す。	消火栓数 / 配水管延長		基/km	2.8	2.8	↑				
							消火栓数 (基)						配水管延長 (km)			
							R3	6,369					2,245,052			
							R4	6,368					2,246,165			
							電力使用量の合計 / 年間配水量						kWh/m ³	0.46	0.46	↓
							電力使用量の合計 (kWh)									
	R3	18,567,544	40,067,548													
	R4	18,076,411	39,353,184													
	エネルギー消費量 / 年間配水量		MJ/m ³	4.51	4.44	↓										
	エネルギー消費量 (MJ)						年間配水量 (m ³)									
	R3	180,677,610.970					40,067,548									
	R4	174,562,566.940					39,353,184									
	(二酸化炭素(CO ₂)排出量 / 年間配水量) × 1,000,000						g・CO ₂ /m ³	243	241	↓						
	二酸化炭素(CO ₂)排出量 (t・CO ₂)										年間配水量 (m ³)					
	R3	9,730.615	40,067,548													
	R4	9,473.000	39,353,184													
	(再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 全施設の電力使用量) × 100		%	0.13	0.12	↑										
	再生可能エネルギー設備の電力使用量 (kWh)										全施設の電力使用量 (kWh)					
R3	23,710	18,567,544														
R4	20,822	18,076,411														
(有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100		%					100.0	100.0	↑							
有効利用土量 (t-Ds)										浄水発生土量 (t-Ds)						
R3	1258.4		1,258.4													
R4	602		602.0													
(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100			%	52.3	61.5	↑										
リサイクルされた建設副産物量 (t)										建設副産物発生量 (t)						
R3	34,021	65,098														
R4	41,800	67,980														
4	施設管理	B401					ダクトイル鉄管・鋼管率	全管路延長にあるダクトイル鉄管・鋼管の割合を示すもので、管路の母材強度に視点を当てた指標。	[(ダクトイル鉄管延長 + 鋼管延長) / 管路延長] × 100		%	39.7	39.6	↑		
									ダクトイル鉄管延長 (km)						鋼管延長 (km)	
			R3	880.051	24.193	2,279.714										
			R4	880.080	24.178	2,280.834										
			(新設管路延長 / 管路延長) × 100		%	0.09			0.06							
			新設管路延長 (km)												管路延長 (km)	
R3	2.013	2,279.714														
R4	1.382	2,280.834														
(法定耐用年数を超えている浄水施設能力 / 全浄水施設能力) × 100		%	0.1	0.1			↓									
法定耐用年数を超えている浄水施設能力 (m ³ /日)								全浄水施設能力 (m ³ /日)								
R3	255				206,485											
R4	255				206,485											
[(法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備などの合計数 / 機械・電気・計装設備などの合計数) × 100]					%	63.6		62.5	↓							
法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備などの合計数 (台・面又は組)										機械・電気・計装設備などの合計数 (台・面又は組)						
R3	56	88														
R4	55	88														
(法定耐用年数を超えている管路延長 / 管路延長) × 100		%	27.2	27.9			↓									
法定耐用年数を超えている管路延長 (km)										管路延長 (km)						
R3	619.893				2,279.714											
R4	637.389				2,280.834											
(更新された管路延長 / 管路延長) × 100					%	1.21		1.06	↑							
更新された管路延長 (km)										管路延長 (km)						
R3	27.684	2,279.714														
R4	24.239	2,280.834														
(更生された管路延長 / 管路延長) × 100		%	0.000	0.000												
更生された管路延長 (km)										管路延長 (km)						
R3	0				2,279.714											
R4	0				2,280.834											
策2	事故災害対				B601	系統間の原水融通率		全浄水施設能力に対する他系統からの融通可能な原水水量の割合を示すものであり、水運用の安定性、柔軟性、及び危機対応性を表す。	(原水融通能力 / 全浄水施設能力) × 100		%	14.5	14.5	↑		
									原水融通能力 (m ³ /日)						全浄水施設能力 (m ³ /日)	
		R3	30,000	206,485												
		R4	30,000	206,485												

目標	分類	区分	指標	指標名	指標の解説	計算式	単位	業務指標値		業務評価基準	
								R3	R4		
B	安定した水の供給	6	事故災害対策	B602	浄水施設の耐震化率	全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示すもので、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表す。	(耐震対策の施された浄水施設能力 / 全浄水施設能力) × 100 耐震対策の施された浄水施設能力 (m ³ /日) / 全浄水施設能力 (m ³ /日)	%	23.4	23.6	↑
				B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率	浄水施設のうち、主要構造物である、沈でん池及びろ過池に対する耐震対策が施されている割合を示すもので、B602(浄水施設の耐震化)の進捗を表す。	[(沈でん・ろ過池を有する施設の耐震化浄水施設能力 + ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力 / 全浄水施設能力) × 100] 沈でん・ろ過池を有する施設の耐震化浄水施設能力 (m ³ /日) / ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力 (m ³ /日) / 全浄水施設能力 (m ³ /日)	%	23.4	23.4	↑
				B603	ポンプ所の耐震化率	耐震化対象ポンプ能力に対する耐震対策が施されたポンプ能力の割合を示すもので、地震災害に対するポンプ施設の信頼性・安全性を表す。	(耐震対策の施されたポンプ能力 / 耐震化対象ポンプ能力) × 100 耐震対策の施されたポンプ能力 (m ³ /日) / 耐震化対象ポンプ能力 (m ³ /日)	%	51.6	51.6	↑
				B604	配水池の耐震化率	全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す。	(耐震対策の施された配水池有効容量 / 配水池等有効容量) × 100 耐震対策の施された配水池有効容量 (m ³) / 配水池等有効容量 (m ³)	%	45.2	45.2	↑
				B605	管路の耐震管率	導・送・配水管(配水支管を含む)全ての管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すもので、地震災害に対する水道管路網の安全性・信頼性を表す。	(耐震管延長 / 管路延長) × 100 水道配水用ポリエチレン管を含む。 耐震管延長 (km) / 管路延長 (km)	%	13.9	15.1	↑
				B606	基幹管路の耐震管率	基幹管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すものであり、地震災害に対する基幹管路の安全性・信頼性を表す。	(基幹管路のうち耐震管延長 / 基幹管路延長) × 100 基幹管路のうち耐震管延長 (km) / 基幹管路延長 (km)	%	44.4	44.8	↑
				B606-2	基幹管路の耐震適合率	基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、B606(基幹管路の耐震管率)を補足する指標。	(基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長 / 基幹管路延長) × 100 基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長 (km) / 基幹管路延長 (km)	%	52.3	52.6	↑
				B607	重要給水施設配水管路の耐震管率	重要給水施設への配水管の総延長に対する耐震管延長の割合を示すもので、大規模な地震災害に対する重要給水施設配水管路の安全性・信頼性を表す。	(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長 / 重要給水施設配水管路延長) × 100 重要給水施設配水管路のうち耐震管延長 (km) / 重要給水施設配水管路延長 (km)	%	54.9	56.0	↑
				B607-2	重要給水施設配水管路の耐震適合率	重要給水施設への配水管の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、B607(重要給水施設配水管路の耐震管率)を補足する指標。	(重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長 / 重要給水施設配水管路延長) × 100 重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長 (km) / 重要給水施設配水管路延長 (km)	%	66.1	67.4	↑
				B608	停電時配水量確保率	一日平均配水量に対する全施設が停電した場合に確保できる配水能力の割合を示すものであり、災害時、広域停電時における危機対応性を表す。	(全施設停電時に確保できる配水能力 / 一日平均配水量) × 100 全施設停電時に確保できる配水能力 (m ³ /日) / 一日平均配水量 (m ³ /日)	%	32.7	33.3	↑
				B609	薬品備蓄日数	浄水場で使う薬品の平均貯蔵量に対する一日平均使用量の割合を示すもので、災害に対する危機対応能力を表す。	平均凝集剤貯蔵量 / 凝集剤一日平均使用量 又は 平均塩素剤貯蔵量 / 塩素剤一日平均使用量 のうち、小さい方の値 平均凝集剤貯蔵量 (t) / 凝集剤一日平均使用量 (t/日) / 平均塩素剤貯蔵量 (t) / 塩素剤一日平均使用量 (t/日) / 値の小さい薬品名	日	14.1	14.2	↔
				B610	燃料備蓄日数	停電時においても、自家発電設備で浄水場の稼働を継続する日数を示すもので、災害時の対応性を表す。	平均燃料貯蔵量 / 一日燃料使用量 平均燃料貯蔵量 (KL) / 一日燃料使用量 (KL/日)	日	0.4	0.4	↑
				B611	応急給水施設密度	100km ² 当たりの応急給水施設数を示すもので、震災時などにおける飲料水の確保のしやすさを表す。	応急給水施設数 / (現在給水面積 / 100) 応急給水施設数 (箇所) / 現在給水面積 (km ²)	箇所/100km ²	7.1	7.1	↑
				B612	給水車保有度	給水人口1,000人当たりの給水車保有台数を示すものであり、事故・災害などの緊急時における応急給水活動の対応性を表す。	給水車数 / (現在給水人口 / 1,000) 給水車数 (台) / 現在給水人口 (人)	台/1,000人	0.016	0.016	↑
				B613	車載用の給水タンク保有度	給水人口1,000人当たりの車載用給水タンク容量を示すものであり、主に大地震などが発生した場合における応急給水活動の対応性を表す。	車載用給水タンクの容量 / (現在給水人口 / 1,000) 車載用給水タンクの容量 (m ³) / 現在給水人口 (人)	m ³ /1,000人	0.16	0.16	↑

目標	分類	区分	指標	指標名	指標の解説	計算式	単位	業務指標値		業務評価基準				
								R3	R4					
C	健全な事業経営	1	健全経営	C101	営業収支比率	営業収益の営業費用に対する割合を示すもので、水道事業の収益性を表す。	[(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費用)]×100				%	111.2	105.1	↑
							営業収益	受託工事収益	営業費用	受託工事費用				
							(円)	(円)	(円)	(円)				
				R3	8,382,814,772	0	7,544,983,121	7,335,451						
				R4	8,223,145,177	0	7,824,355,318	2,778,394						
				C102	経常収支比率	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表す。	[(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100				%	115.5	109.6	↑
							営業収益	営業外収益	営業費用	営業外費用				
							(円)	(円)	(円)	(円)				
				R3	8,382,814,772	808,156,980	7,544,983,121	411,550,431						
				R4	8,223,145,177	777,631,225	7,824,355,318	385,197,416						
				C103	総収支比率	総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表す。	(総収益/総費用)×100				%	115.2	110.0	↑
							総収益	総費用						
							(円)	(円)						
				R3	9,205,135,339	7,987,903,178								
				R4	9,040,154,952	8,219,254,870								
C104	累積欠損金比率	受託工事収益を除く営業収益に対する累積欠損金の割合を示すもので、水道事業経営の健全性を表す。	[累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)]×100				%	0.0	0.0	↓				
			累積欠損金	営業収益	受託工事収益									
			(円)	(円)	(円)									
R3	0	8,382,814,772	0											
R4	0	8,223,145,177	0											
C105	繰入金比率(収益的収入分)	収益的収入に対する損益勘定繰入金の依存度を示しており、事業の経営状況を表す。	(損益勘定繰入金/収益的収入)×100				%	1.5	1.7					
			損益勘定繰入金	収益的収入										
			(円)	(円)										
R3	139,256,594	9,205,135,339												
R4	153,706,286	9,040,154,952												
C106	繰入金比率(資本的収入分)	資本的収入に対する資本勘定繰入金の依存度を示しており、事業の経営状況を表す。	(資本勘定繰入金/資本的収入計)×100				%	35.1	29.8					
			資本勘定繰入金	資本的収入計										
			(円)	(円)										
R3	940,452,019	2,678,553,847												
R4	841,656,451	2,827,905,284												
C107	職員一人当たり給水収益	損益勘定職員一人当たりの給水収益を示すもので、水道事業における生産性について給水収益を基準として把握するための指標。	給水収益/損益勘定所属職員数				千円/人	61,887	60,800	↑				
			給水収益	損益勘定所属職員数										
			(千円)	(人)										
R3	8,045,369	130												
R4	7,904,051	130												
C108	給水収益に対する職員給与との割合	給水収益に対する職員給与との割合を示すもので、水道事業の収益性を表す。	(職員給与/給水収益)×100				%	12.5	13.1	↓				
			職員給与	給水収益										
			(円)	(円)										
R3	1,004,475,909	8,045,368,803												
R4	1,034,170,777	7,904,051,364												
C109	給水収益に対する企業債利息の割合	給水収益に対する企業債利息の割合を示すもので、水道事業の効率性及び財務安全性を表す。	(企業債利息/給水収益)×100				%	5.1	4.7	↓				
			企業債利息	給水収益										
			(円)	(円)										
R3	406,768,315	8,045,368,803												
R4	370,527,414	7,904,051,364												
C110	給水収益に対する減価償却費の割合	給水収益に対する減価償却費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表す。	(減価償却費/給水収益)×100				%	46.3	46.8	↓				
			減価償却費	給水収益										
			(円)	(円)										
R3	3,728,310,415	8,045,368,803												
R4	3,699,014,087	7,904,051,364												
C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合を示すもので、建設改良のための企業債償還元金が経営に及ぼす影響を表す。	(建設改良のための企業債償還元金/給水収益)×100				%	27.9	28.4					
			建設改良のための企業債償還元金	給水収益										
			(円)	(円)										
R3	2,242,038,047	8,045,368,803												
R4	2,246,130,276	7,904,051,364												
C112	給水収益に対する企業債残高の割合	給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す。	(企業債残高/給水収益)×100				%	306.6	307.5	↓				
			企業債残高	給水収益										
			(円)	(円)										
R3	24,668,844,072	8,045,368,803												
R4	24,307,013,796	7,904,051,364												
C113	料金回収率	給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す。	(供給単価/給水原価)×100				%	110.4	104.0	↑				
			供給単価	給水原価										
			(円/m)	(円/m)										
R3	222.7	201.7												
R4	223.7	215.1												
C114	供給単価	有収水量1m ³ 当たりの給水収益の割合を示すもので、水道事業でどれだけ収益を得ているかを表す。	給水収益/年間総有収水量				円/m ³	222.7	223.7	↓				
			給水収益	年間総有収水量										
			(円)	(m ³)										
R3	8,045,368,803	36,133,669												
R4	7,904,051,364	35,330,536												
C115	給水原価	有収水量1m ³ 当たりの経常費用(受託工事費等を除く)の割合を示すもので、水道事業でどれだけ費用がかかっているかを表す。	[経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費+長期前受金戻入)]/年間有収水量				円/m ³	201.7	215.1					
			経常費用	受託工事費	材料及び不用品売却原価	附帯事業費					長期前受金戻入	年間有収水量		
			(円)	(円)	(円)	(円)					(円)	(m ³)		
R3	7,956,533,552	7,335,451	0	0	662,651,301	36,133,669								
R4	8,209,552,734	2,778,394	0	0	605,558,146	35,330,536								

目標	分類	区分	指標	指標名	指標の解説	計算式	単位	業務指標値		業務評価基準		
								R3	R4			
C	健全な事業経営	1	健全経営	C116	1か月10㎡当たり家庭用料金	1か月に10㎡使用した場合における水道料金を示し、契約者の経済的利便性を表す。	1か月10㎡当たり家庭用料金		円	2,013	2,013	↓
							1か月10㎡当たり家庭用料金 (円)					
							R3	2,013				
				R4	2,013							
				C117	1か月20㎡当たり家庭用料金	1か月に20㎡使用した場合における水道料金を示し、契約者の経済的利便性を表す。	1か月20㎡当たり家庭用料金		円	3,729	3,729	↓
							1か月20㎡当たり家庭用料金 (円)					
							R3	3,729				
				R4	3,729							
				C118	流動比率	流動負債に対する流動資産の割合を示すものであり、事業の財務安全性を表す。	(流動資産 / 流動負債) × 100		%	231.9	215.1	↑
							流動資産 (円)	流動負債 (円)				
							R3	11,824,661,098				
				R4	10,971,447,166	5,099,900,622						
				C119	自己資本構成比率	総資本(負債及び資本)に対する自己資本の割合を示しており、財務の健全性を表す。	[(資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益) / 負債・資本合計] × 100					%
資本金 (円)	剰余金 (円)	評価差額など (円)	繰延収益 (円)				負債・資本合計 (円)					
R3	58,808,261,874	3,717,975,637	0				12,364,386,441	103,772,295,919				
R4	61,377,207,745	2,675,382,414	0	11,931,840,790	104,507,216,623							
C120	固定比率	自己資本に対する固定資産の割合を示すものであり、財務の安定性を表す。	[固定資産 / (資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益)] × 100					%	122.8	123.1	↓	
			固定資産 (円)	資本金 (円)	剰余金 (円)	評価差額など (円)	繰延収益 (円)					
			R3	91,947,634,821	58,808,261,874	3,717,975,637	0					12,364,386,441
R4	93,535,769,457	61,377,207,745	2,675,382,414	0	11,931,840,790							
C121	企業債償還元金対減価償却費比率	当年度減価償却費に対する企業債償還元金の割合を示すもので、投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標。	(建設改良のための企業債償還元金 / 当年度減価償却費 - 長期前受金戻入) × 100					%	72.1	74.0	↓	
			建設改良のための企業債償還元金 (円)	当年度減価償却費 (円)	長期前受金戻入 (円)							
			R3	2,242,038,047	3,728,310,415	620,434,400						
R4	2,246,130,276	3,699,014,087	662,651,301									
C122	固定資産回転率	固定資産(年度平均)に対する営業収益の割合を示すもので、1年間に固定資産額の何倍の営業収益があったかを示す指標。	(営業収益 - 受託工事収益) / [(期首固定資産 + 期末固定資産) / 2]					回	0.09	0.09	↑	
			営業収益 (円)	受託工事収益 (円)	期首固定資産 (円)	期末固定資産 (円)						
			R3	8,382,814,772	0	90,604,300,922	91,947,634,821					
R4	8,223,145,177	0	91,947,634,821	93,535,769,457								
C123	固定資産使用効率	有形固定資産に対する年間総配水量の割合を示すもので、施設の使用効率を表す。	年間配水量 / 有形固定資産					㎡/万円	4.4	4.3	↑	
			年間配水量 (㎡)	有形固定資産 (万円)								
			R3	40,067,548	9,094,096							
R4	39,353,184	9,256,899										
C124	職員一人当たり有収水量	1年間における損益勘定職員一人当たりの有収水量を示すもので、水道サービスの効率性を表す。	年間総有収水量 / 損益勘定所属職員数					㎡/人	278,000	272,000	↑	
			年間総有収水量 (㎡)	損益勘定所属職員数 (人)								
			R3	36,133,669	130							
R4	35,330,536	130										
C125	料金請求誤り割合	料金請求総件数に対する誤請求の件数の割合を示すもので、料金関連業務の適正度を表す。	誤料金請求件数 / (料金請求件数 / 1,000)					件 / 1,000件	0.00	0.00	↓	
			誤料金請求件数 (件)	料金請求件数 (件)								
			R3	1	914,564							
R4	1	913,486										
C126	料金収納率	1年間の水道料金総調定額に対して、決算確定時点において納入されている収入額の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す。	(料金納入額 / 調定額) × 100					%	97.5	97.5	↑	
			料金納入額 (千円)	調定額 (千円)								
			R3	8,630,450	8,849,906							
R4	8,476,453	8,694,457										
C127	給水停止割合	給水件数に対する給水停止件数の割合を示すもので、水道料金の未納状況の度合いを見る指標。	給水停止件数 / (給水件数 / 1,000)					件 / 1,000件	4.8	6.0	↓	
			給水停止件数 (件)	給水件数 (件)								
			R3	725	149,938							
R4	898	149,365										
C201	水道技術に関する資格取得度	職員が取得している水道技術に関する資格数の全職員に対する割合。	職員が取得している水道技術に関する資格数 / 全職員数					件/人	0.67	0.67	↑	
			職員が取得している水道技術に関する資格数 (件)	全職員数 (人)								
			R3	116	172							
R4	115	172										
C202	外部研修時間	職員一人当たりの外部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組み状況を表す。	(職員が外部研修を受けた時間 × 受講人数) / 全職員数					時間/人	10.1	7.4	↑	
			職員が外部研修を受けた時間 × 受講人数 (延べ時間)	全職員数 (人)								
			R3	1,744	172							
R4	1,267	172										
C203	内部研修時間	職員一人当たりの内部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組み状況を表す。	(職員が内部研修を受けた時間 × 受講人数) / 全職員数					時間/人	8.4	8.1	↑	
			職員が内部研修を受けた時間 × 受講人数 (延べ時間)	全職員数 (人)								
			R3	1,444	172							
R4	1,387	172										

目標	分類	区分	指標	指標名	指標の解説	計算式	単位	業務指標値		業務評価基準		
								R3	R4			
C	組織・人材	2	人材育成	C204	技術職員率	全職員数に対する技術職員の割合を示すもので、技術面での維持管理体制を表す。	(技術職員数 / 全職員数) × 100		%	63.4	63.4	
							技術職員数	全職員数				
							(人)	(人)				
							R3 109	172				
		R4 109	172									
		C205	水道業務平均経験年数	全職員の水道業務平均経験年数を表すもので、人的資源としての専門技術の累積度合いを表す。	職員の水道業務経験年数 / 全職員数		年/人	11.7	11.7	↑		
					職員の水道業務経験年数	全職員数						
					(年)	(人)						
					R3 2,018	172						
		R4 2,017	172									
	C206	国際協力派遣者数	国際協力に派遣された人数とその滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表す。	(国際協力派遣者数 × 滞在日数)		人・日	0	0	↑			
				国際協力派遣者数	滞在日数							
				(人)	(日)							
				R3 0	0							
	R4 0	0										
	C207	国際協力受入者数	受け入れた海外の水道関係者の人数と滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表す。	(国際協力受入者数 × 滞在日数)		人・日	0	0	↑			
				国際協力受入者数	滞在日数							
				(人)	(日)							
				R3 0	0							
	R4 0	0										
3	業務委託	C301	検針委託率	水道メーター設置数に対する検針委託している水道メーター数の割合を示すもので、業務委託の度合いを表す。	(委託した水道メーター数 / 水道メーター設置数) × 100		%	100.0	100.0			
					委託した水道メーター数	水道メーター設置数						
					(個)	(個)						
					R3 186,972	186,977						
R4 187,777	187,782											
C302	浄水場第三者委託率	全浄水場の浄水施設能力のうち、第三者委託している浄水場の浄水施設能力の割合を示すもので、第三者委託の導入状況を表す。	(第三者委託した浄水場の施設能力 / 全浄水施設能力) × 100		%	0.0	0.0					
			第三者委託した浄水場の施設能力	全浄水施設能力								
			(m ³ /日)	(m ³ /日)								
			R3 0	206,485								
R4 0	206,485											
健全な事業経営	4	情報提供	C401	広報誌による情報の提供度	給水件数に対する広報誌などの発行部数の占める割合を示すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表す。	広報誌などの配布部数 / 給水件数		部/件	3.1	3.1	↑	
						広報誌などの配布部数	給水件数					
						(部)	(件)					
		R3 460,000	149,938									
		R4 457,000	149,365									
		C402	インターネットによる情報の提供度	インターネット(ウェブページ)による水道事業の情報発信回数を表すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表す。	ウェブページへの掲載回数		回	469	464	↑		
	ウェブページへの掲載回数											
	(回)											
	R3 469											
	R4 464											
5	意見収集	C403	水道施設見学者割合	給水人口に対する水道施設見学者の割合を示すもので、お客様との双方向コミュニケーションの推進度合いを表す。	見学者数 / (現在給水人口 / 1,000)		人 / 1,000人	0.0	0.1	↑		
					見学者数	現在給水人口						
		(人)	(人)									
		R3 0	319,087									
R4 21	315,175											
C501	モニター割合	現在給水人口に占めるモニター数の割合を表すもので、お客様との双方向コミュニケーションの推進度合いを表す。	モニター人数 / (現在給水人口 / 1,000)		人 / 1,000人	0.0	0.0	↑				
			モニター人数	現在給水人口								
(人)	(人)											
R3 0	319,087											
R4 0	315,175											
C502	アンケート情報収集割合	給水人口に対する1年間に実施したアンケート調査に回答した人数の割合を示し、お客様のニーズの収集実行度を表す。	アカウント回答人数 / (現在給水人口 / 1,000)		人 / 1,000人	3.81	4.63	↑				
			アカウント回答人数	現在給水人口								
(人)	(人)											
R3 1,216	319,087											
R4 1,460	315,175											
C503	直接飲用率	水道水を飲用としており、お客様の割合を示すものであり、水道水の飲み水として評価を表す。	(直接飲用回答数 / アンケート回答数) × 100		%	53.0	47.5	↑				
			直接飲用回答数	アンケート回答数								
(人)	(人)											
R3 640	1,208											
R4 506	1,066											
C504	水道サービスに対する苦情対応割合	給水件数に対する水道サービスに関する苦情対応件数の割合を示すもので、水道サービス向上に対する取組み状況を表す。	水道サービス苦情対応件数 / (給水件数 / 1,000)		件 / 1,000件	0.00	0.00	↓				
			水道サービス苦情対応件数	給水件数								
(件)	(件)											
R3 0	149,938											
R4 0	149,365											
C505	水質に対する苦情対応割合	給水件数に対する、水道水の水質に関する苦情対応件数の割合を示すもので、水道水質の向上に対する取組み状況を表す。	水質苦情対応件数 / (給水件数 / 1,000)		件 / 1,000件	0.13	0.13	↓				
			水質苦情対応件数	給水件数								
(件)	(件)											
R3 20	149,938											
R4 20	149,365											
C506	水道料金に対する苦情対応割合	給水件数に対する水道料金に関する苦情対応件数の割合を示すもので、お客様の水道料金への満足度を表す。	水道料金苦情対応件数 / (給水件数 / 1,000)		件 / 1,000件	0.00	0.00	↓				
			水道料金苦情対応件数	給水件数								
(件)	(件)											
R3 0	149,938											
R4 0	149,365											